

スクールワイドPBS (Positive Behavior Support)

スクールワイドPBSとは

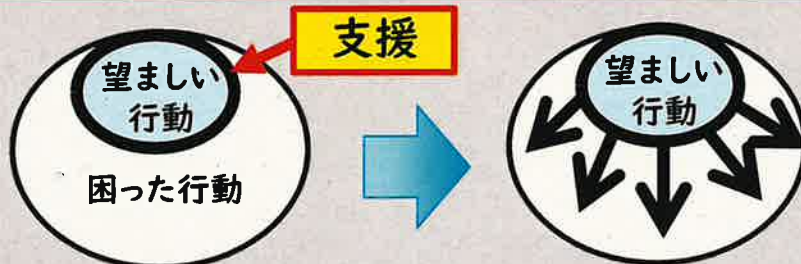
教職員(保護者・地域住民)
「子どもにこんな姿になって欲しい」



望ましい行動

子ども達 「こんな姿になりたい」

- 学校全体で目標とする望ましい行動を共有
- 望ましい行動の支援を全教職員で一貫して行う



望ましい行動が増えれば困った行動は自然に少なくなる

取り組んだ学校の声

- 問題行動の減少
- 温かく助け合う学校の雰囲気の醸成
- 全国学力・学習状況調査の結果の向上
- 教職員のポジティブな言動の増加

具体的な実践の流れ

① 目標とする望ましい行動が何か、**学校全体(教職員や子ども)**で検討する。

※ 目標とする望ましい行動は、**肯定的な表現**で、教職員や子どもが**具体的にイメージ**できるように示す。

例	きまりを守ろう	自分も友だちも大切にしよう	すてきなことばをかけよう
授業中	授業が始まる時にえんぴつ、赤えんぴつ、消しゴムを机の上に用意しよう	話をしている人の方へおへそを向けよう	「です・ます」のような丁寧な言葉を使おう
業間休み 昼休み	予鈴を聞いたらすぐに教室にもどろう	友だちの名前をよぶときは「〇〇さん」とよぼう	友だちに「ありがとう」「ごめんね」と言おう

② 学校の各場面・場所で目標とする望ましい行動が何かを、子ども達に伝え、教える機会を設ける。

③ 全校で共通した方法で望ましい行動が起きやすくなる促しや環境設定、及び望ましい行動へのフィードバックを計画する。

※ 取り組みやすい方法で、具体的な教示をしたり、モデルを示したりする。

※ フィードバックの例

承認・称賛、チケット、シール、スタンプ、グラフ化 等